



## 男子ダブルスカルで 準々決勝進出



## 積み重ねの先に

ボート部

たけいし あきひと  
武石 彬史

男子ダブルスカルに出場した私と2年の鎌田悠慎は、全県総体でライバルの本荘高校に漕ぎ勝ち、広島県福山市で行われるインターハイ出場を決めた。会場となった芦田川は、風も波も非常に強く、さらに広島島の強烈な日差しと猛暑によって、予選では自分たちらしい漕ぎが全くできなかった。それでも、これまで積み重ねてきた「考えるローイング」を武器にレースプランを立て直し、敗者復活戦では最後の最後に相手を差し切って準々決勝進出を果たした。準々決勝でゴールした瞬間、数え切れない出来事が一気によみがえり、胸が熱くなった。次々と辞めていった同級生、冬の厳しい練習の日々、先輩との思い出、そしてインターハイ出場を決めたときにコーチと抱き合った場面……

苦しいことばかりだったけれど、それでもボートを選び、続けてきて良かった。心からそう思えたのが、このインターハイだった。

## 「まっすぐ」を目指して

弓道部

いとう すみや  
伊藤 澄弥

私たちは、インターハイ弓道競技に男子団体で2年連続の出場を果たしました。「優勝」という目標を全員で掲げ、「まっすぐ」に引くことを目指して日々の練習に励みました。迎えた本番では、前半は10射4中で思うように力を出せず苦しみましたが、最後の1射は5人全員が的中し20射12中で競射まで持ちこみました。しかし、残念ながら競射で敗れ、予選敗退という結果に終わってしまいました。

この3年間を振り返ると弓道を通して貴重な経験を積み、仲間と笑った日々、目標に向かって練習をした日々が思い起こされます。もちろんうまくできなくて悩んだこともありました。最後は、いつも支えてくださったOB会の皆様、先生方、保護者の方々や後輩たちにこの場を借りて感謝を申し上げます。これからも秋田高校弓道部をよろしく願います。



## 団体で全国9位



## 頂を目指して

山岳部

なかやま ちひろ  
仲山 千尋

今年のインターハイは昨年までの反省のもと、本気で優勝を目指してきた大会でした。この1年間で、先生方と試行錯誤を重ね、細部までこだわって準備してきました。しかし、今年は例年になくハイレベルな戦いとなり、昨年の準優勝チームを超える点数ながらも9位という結果に終わってしまいました。何が減点されたのか、どうすべきだったのか。数日間夢でインターハイをやり直していました。それでも、準備の成果は全て出し切れたと胸を張って言えます。安全登山のためのあらゆる力を100点満点で競うのが登山競技で、その力が99・1点に達したと言えるのなら、私はそのことを誇りに思います。何よりも準備も下見も本番も、最高に楽しかったです。もはや家族同然の仲間や先生方と共に全国の頂を目指すことができて幸せでした。本当にありがとうございました。今後とも山岳部をよろしく願います。

## 仲間と歩んだ 全国大会

将棋部

かわた らい  
川田 頼輝

私達がかがね文祭の団体戦に出場しました。1回戦ではメンバー全員が勝利することができ好調なスタートを切りましたが、あとの3戦は負け、結果は1勝3敗で予選敗退となってしまいました。目標にしていた決勝トーナメント進出を果たせなかった悔しさは大きいものの、対局ごとに部員全員が持てる力を出し尽くし、1局1局を楽しんで指すことができました。全国の強豪と真剣勝負を交わせたことは技術と精神の両面で貴重な糧となり、仲間と共に大会を楽しめたことが何よりの収穫です。部活動で詰将棋を解いたり互いに厳しく指摘し合った日々は忘れられません。この大会で3年生は引退となりますが、悔いのない結果であったように思います。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。後輩の皆さん、将棋を楽しんで頑張ってください。

